

都市再生整備計画(第3回変更)

しんみなとよこどちようせんえんどうちく
新港横戸町線沿道地区

ちばけん ちばし
千葉県 千葉市

平成20年11月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	千葉県	市町村名	千葉市	地区名	新港横戸町線沿道地区	面積	164.5 ha
計画期間	平成 16 年度 ~ 平成 20 年度	交付期間	平成 16 年度 ~ 平成 20 年度				

目標

「人、自然、未来、いのち」を大切に、環境にやさしく地域の人々のふれあいと参加のあるみどりの道づくり

- ①臨海部と内陸部の連絡強化を図る広域道路の整備を主軸とした交通環境の改善
- ②緑化による緑豊かな都市環境の創出
- ③市民活動の促進による市民主体のまちづくり

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

千葉市では、県内外の交流・連携を図り広域的な位置付けを確保できる道路網を「千葉市広域道路整備基本計画」において広域道路として位置付け、整備を進めている。現在、都市計画道路新港横戸町線は、広域道路として、特に千葉都心部への交通の分散と臨海部と内陸部の連絡強化を図ることを目的に、整備を推進している。この内、地域高規格道路指定区間は街路事業費補助を活用し、事業を実施しており、また、指定区間外である幸町工区についても、地域高規格道路の整備効果を高めるため、整備を推進している。

新港横戸町線沿道地区は海浜埋立地・谷地・台地を結ぶ区域からなり、海浜埋立地地区では高層団地が建並び、谷地形地区では古くからの屋敷郡と宅地開発による住宅密集地が混在し、台地地区では住宅地と区役所、医療施設、学校等の公共公益施設が集約された文教地区となっている。新港横戸町線はこれら既成市街地内を通過する広域道路であるため、沿道への環境悪化が危惧されており、その解決策として、道路と沿道緑地が一体となった緑豊かな道「みどりの道」を整備することとしており、緑による効用としての都市のヒートアイランド現象緩和や延焼防止帯等の役割も担うものとしている。

また、地域住民の理解を得るため、沿道住民参加による協議会や検討会を開催し、沿道住民との協働によるよりよい道づくりの実現を目指し、単なる道路整備ではない沿道区域を取り込んだ緑豊かな都市環境の創出と市民活動の促進による市民主体のまちづくりを目指している。

- ・新港横戸町線づくり協議会：平成11年度より13回開催、学識経験者、沿道自治会・事業所代表者計24名で委員を構成
- ・新港横戸町線緑化検討会：平成11年度よりWS19回開催、緑化計画に興味のある沿道住民で構成 60名程度

課題

- ・既成市街地内を通過する街路整備による沿道環境への影響（騒音、大気、振動等の悪化）
- ・掘割構造である街路整備による地域分断（生活道路、コミュニティ等）
- ・街路整備により消失する地域資源（緑、景観、歴史、風土等）の復元、保存

将来ビジョン(中長期)

千葉市新総合ビジョン(平成12年3月策定)、千葉市緑と水辺の基本計画(当初計画平成9年12月、見直し計画平成14年11月策定)、千葉市広域道路整備基本計画(当初計画平成5年策定、見直し計画平成10年6月策定)

首都圏の中核都市との広域道路ネットワークを形成するため、高規格幹線道路の整備を推進し、湾岸部の各種開発の支援、都心部の交通の整流化を図る。

積極的な公共施設の緑化を進めると共に、緑化の意識を高める普及・啓発事業により、市民、民間団体、企業、行政などが一体となった市街地緑化を推進し、緑あふれる都市空間の保全と創造を図る。

市民参加による公共施設の計画・管理を進め、市民による公益活動を促進し、市民主体の都市づくりを推進する。

目標を定量化する指標

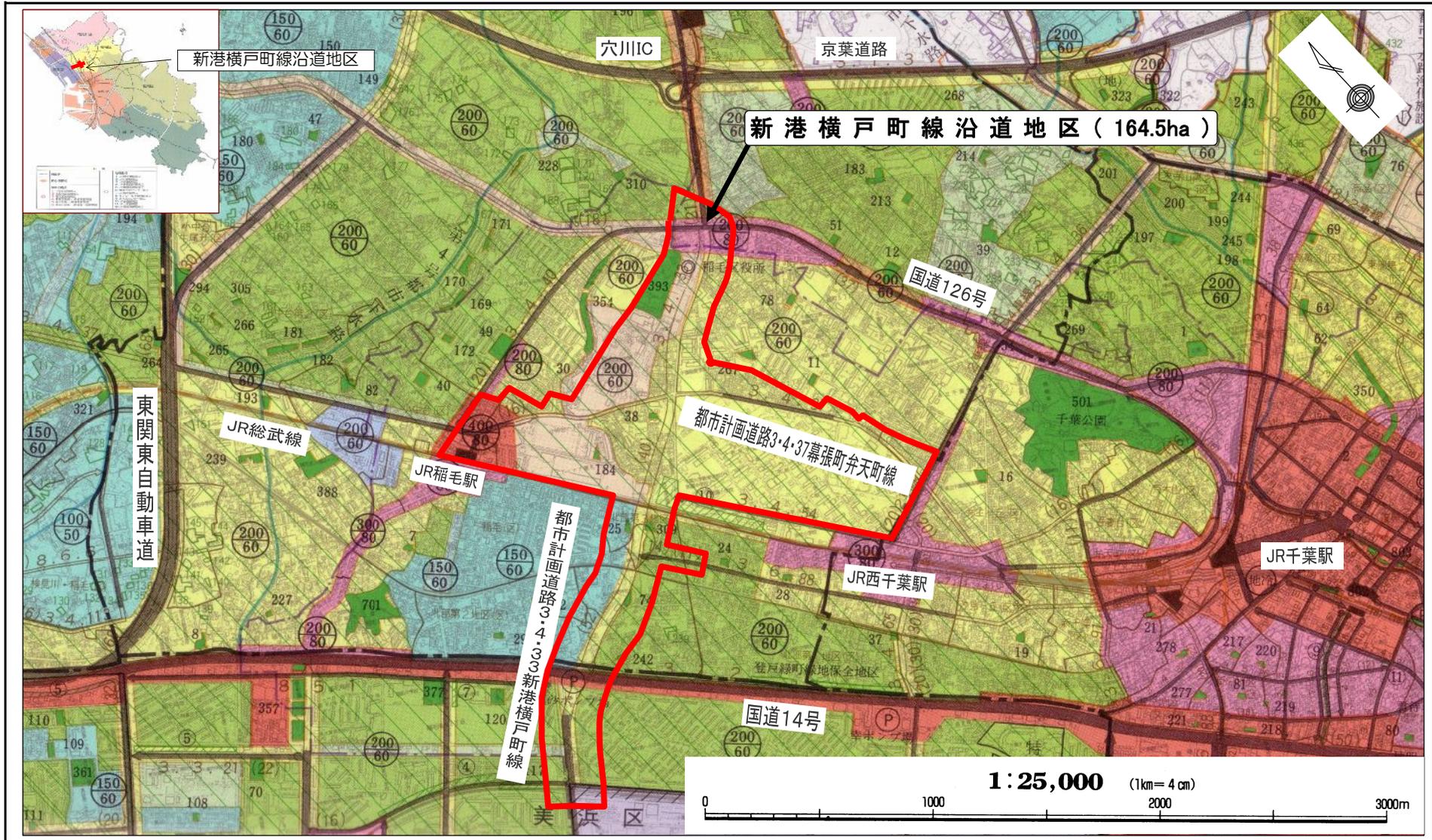
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
環境に配慮した広域道路の整備 (沿道騒音環境基準達成率)	%	道路整備前後の騒音実測値 環境基準達成実測数/総測定数(地域・時間区分毎) (等価騒音レベル24時間連続測定)	沿道環境に配慮すべく緑化及び低騒音舗装等を実施した広域道路を整備し、騒音環境基準値を満足させる。 環境基準(幸町地区)-道路端より20mまで:昼間70db, 夜間65db, 道路端から20~50m範囲:昼間60db, 夜間55db	0	H16	100	H20
緑空間の拡充	%	地区内の公共施設の緑空間面積(道路緑地+公園緑地+広場等)/新港横戸町線沿道面積	街路整備による沿道環境悪化の低減と緑豊かな都市環境の創出を目指す。	3.5	H16	6.0	H20
市民活動の促進率	%	市民参加による管理公園箇所数/供用公園緑地箇所数	地域コミュニティの形成及び市民主体の都市づくりを推進する。 H16:2箇所/7箇所→H20:3箇所/8箇所を目指す。	29	H16	38	H20
公園緑地に対する満足度	%	新規供用公園緑地に対するアンケート調査による満足度	地域の人々の利用に即した公共施設整備を目指す。	—	H16	35	H20
樹木再生率	%	移植、種・挿枝等の活用数/街路整備による支障樹木数	地域資源の活用、地域に根ざした緑化の推進を図る。 支障樹木数185本、目標250本=移植成功7割(130本)+挿枝・どんぐりによる苗木の育成(ワークショップ60名×2本/人=120本)	100	H16	135	H20

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>《交通環境の改善》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新港横戸町線(幸町工区)、幕張町弁天町線の整備により、地域高規格道路の整備効果高め、臨海部と内陸部の連絡強化を図る。 ・街路整備に併せ生活道路の改善を行い、地区内交通の円滑化、安全性の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新港横戸町線道路築造 ・関連生活道路整備 ・幕張町弁天町線道路整備
<p>《緑化の推進》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沿道環境負荷低減のため、道路内の積極的な緑化や沿道に公園・緑地を整備することにより、緑豊かな都市環境を創出する。 ・地域に根ざした緑づくり、地域資源活用のため、街路事業により支障となる樹木の移植等を行なう。 ・沿道住民参加による緑化計画・設計等を行い、官民一体となった緑化の推進に努め、地域に愛される緑化を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園緑地整備 ・新港横戸町線道路築造 ・樹木移植 ・緑化検討会の運営
<p>《市民主体のまちづくり》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沿道住民参加による協議会や検討会を開催し、沿道住民との協働による「よりよい道づくり」の実現を目指すと共に、地域の連帯や誇りを醸成し、市民活動の促進による市民主体のまちづくりを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道づくり協議会の運営 ・緑化検討会の運営
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○住民によるまちづくり活動 ・地区の歴史の保存 旧海岸線から谷津筋の黒砂地区は、先祖伝来の地主が多く、斜面林や屋敷林、神社の森が残る緑豊かな地区であるが、近年、宅地造成等により住宅が密集し、その景観が失われつつあった。新港横戸町線の整備を契機として新旧住民による「黒砂の資料を保存する会」が発足し、市と協働で、次世代に継承する地域資産として、地区の歴史や景観を保存する資料作成や民具等を収集し、公民館への常設展示を行った。展示後も住民主体による活動を継続的に行っている。 ・緑化に関する取り組み 緑化に係わる基本方針を検討するワークショップでの集まりを機に、花壇づくりに興味のある住民が空地等を利用し、花壇づくりを行い管理運営し、新たなコミュニティ形成を築いている。また、公園の管理に参加するグループも立ち上がってきている。 ・小学校総合学習による取り組み 地区近隣小学校では、児童が地域活動に参画し、将来の地域をになう資質を育成することを目的に「まちづくり学習」を行っており、平成13年度から新港横戸町線を題材にした授業がスタートした。身近な地域でのまちづくりの様子を体験しながら、公園の計画づくりを行っている。 ・環境に対する取り組み 新港横戸町線の整備にあたっては環境予測等を行い環境負荷低減を考慮し事業実施を行っているが、整備後の大気質の状況を危惧する住民自ら一部の沿道地区について大気質の簡易測定を実施していた。これにより、他の地区からも沿道地区全体についての現況把握を行いたいという機運が高まり、市で沿道地区住民を対象とした大気についての勉強会等を開催し、測定方法等を住民と検討し、平成15年度に市と住民の協働による簡易測定を一週間実施した。今後も住民による継続的な現況測定意向があれば、住民主体で実施し、市は協力する体勢を取るものとしている。 	

都市再生整備計画の区域

<p>新港横戸町線沿道地区(千葉県千葉市)</p>	<p>面積 164.5 ha</p>	<p>区域 幸町2丁目、新港、高洲1・2丁目、稲毛海岸1丁目、黒砂2・3・4丁目、黒砂台1・2・3丁目、小仲台1・2丁目、弥生町、穴川1・2・3・4丁目、轟町1・2丁目の各一部</p>
---------------------------	--------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------



新港横戸町線沿道地区(千葉県千葉市) 整備方針概要図

目標	「人、自然、未来、いのち」を大切に、環境にやさしく地域の人々のふれあいと参加のあるみどりの道づくり	代表的な指標	環境に配慮した広域道路の整備(沿道緑地管理環境基準達成率)	(%)	0 (H16年度) →	100 (H20年度)
			緑空間の拡充	(%)	3.5 (H16年度) →	6.0 (H20年度)
			市民活動の促進率	(%)	29 (H16年度) →	38 (H20年度)

